

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

大台町教育委員会

令和5年4月18日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童・生徒質問紙調査から見られた本町の児童・生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

## 教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、小学校では国語・算数の2教科、大台町立小学校第6学年の児童53名が参加しました。調査結果については、小学校は、国語、算数それぞれにおいて、全国平均正答率を下回る結果となりました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

### 【小学校 国語】

#### 〈おおむね理解している問題〉

◇目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えを比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題

- ・寺田さんと山本さんがどのような思いでボランティアを続けているのかについて、わかったことをまとめて書く (3-2) (正答率:約7割)

#### 〈課題がみられた問題〉

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題

- ・【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く (1-2) (正答率:約2割)

### 大問1二

【川村さんの文章】の空欄に、下の条件に合わせて、学校の米作りの問題点とその解決方法について書く。 【書くこと】

課題がみられた問題

- (条件)
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

#### 【川村さんの文章】

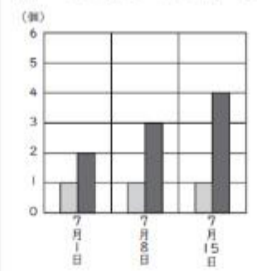
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くらべてみました。ウ きかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



10個あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、に学校の米作りの問題点とその解決方法について書きますか。あとの条件に合わせて書きましよう。に入る内容を

#### 【カード①】

6月24日  
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。  
・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいしようするのではないかと心配だ。

#### 【カード②】

6月30日  
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。  
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。  
・調査きかん 7月1日～15日

#### 【カード③】

7月19日  
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。  
・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

#### 【カード④】

7月20日  
【農家の石山さんのお話】  
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。  
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。  
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

#### 【カード⑤】

7月21日  
【学校でできる解決方法】  
・雑草取りの回数を増やす。  
・雑草取りの人数を増やす。

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。  
【川村さんの考え】  
雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。



〈正答例〉

グラフから分かるように、学校田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられて収穫が減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字) **正答率：20.8%**

〈誤答例〉

グラフから分かるように、農家も雑草が生えています。このままだと雑草に栄養をとられてしゅうかくが減るかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草をとる回数を増やしました。(92字) **11.3%**

誤答例の分析と課題

このように解答した児童は、【川村さんの文章】のグラフから分かる「雑草の量が増え続ける」という学校の米作りの問題点を書いていない。他にも【カード④】から分かることを書いていない誤答が22.6%あり、グラフと【カード④】のいずれかの情報しか取り上げていないために誤答となってしまった児童は、あわせて15.1%になる。グラフを含めた複数の情報を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられます。

〈今後の学習の手立て〉

「**図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する指導を大切に**」

必要に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できる文章になることを実感できるように指導すると効果的です。書いた文章の感想や意見をクラスの友だちと伝え合い、自分の文章のよいところを見つけるなどの学習活動を充実させることも大切です。

「R5年度【小学校国語】調査問題」



【小学校 算数】

〈おおむね理解している問題〉

- ◇伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる問題
- ・5脚の椅子を重ねたときの高さを求める 【1(1)】 (正答率：約9割)

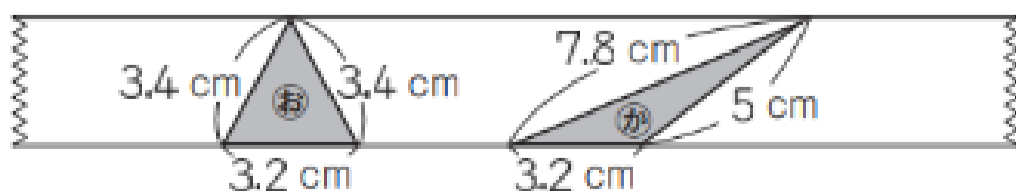
〈課題がみられた問題〉

- ◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題
- ・テープを直線で切ってできた2つの三角形の面積の大きさについて分かることを選び、選んだわけを書く 【2(4)】 (正答率：約1割)

大問2(4)

テープを直線で切った2つの三角形の面積の大きさを判断し、その理由を説明する。 【図形】

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下の様な㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

「R5全国学力学習状況調査 小学校算数」より

課題がみられた問題

〈正答〉【番号】 3

【わけ】 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊦と㊧の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。㊦と㊧の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊦と㊧の面積は等しいです。

正答率：13.2%

〈誤答例〉【番号】 4

【わけ】 高さが書かれていないので、このままでは面積を求めることができないから。

24.5%

誤答例の分析と課題

このように解答した児童は、2つの三角形の高さが同じであるということに気付くことができていないか、具体的な数値が示されていないので比べることができないと判断したと考えられます。

〈今後の学習の手立て〉

「底辺と高さの関係に着目し、図形の面積の求め方から面積の大小を判断できるようにする指導を大切に」

平行な二つの直線にはさまれた二つの図形の面積を比べる活動を通して、三角形や平行四辺形の面積の公式についての理解を深めることを大切にしていきます。また、その際に、底辺の長さが等しいとき、高さの具体的な長さが分からなくても、高さが等しいと分かれば三角形や平行四辺形の面積は等しいと実感を伴って判断できるよう指導していきます。

「R5年度【小学校算数】調査問題」



児童質問紙調査からみられた子どもの姿より

大台町の子どもたち

人が困っている時  
進んで助けている  
**94.3%**  
(全国91.6%)

人の役に立つ  
人間になりたい  
**96.3%**  
(全国95.9%)

地域の行事に  
参加している  
**62.2%**  
(全国57.8%)

友だち関係に  
満足している  
**90.6%**  
(全国90.3%)

いじめはどんな理由があっても  
いけないことだと思う  
**92.4%**  
(全国96.9%)

※子どもたちが児童質問紙で肯定的に回答した割合が高かった主な設問より

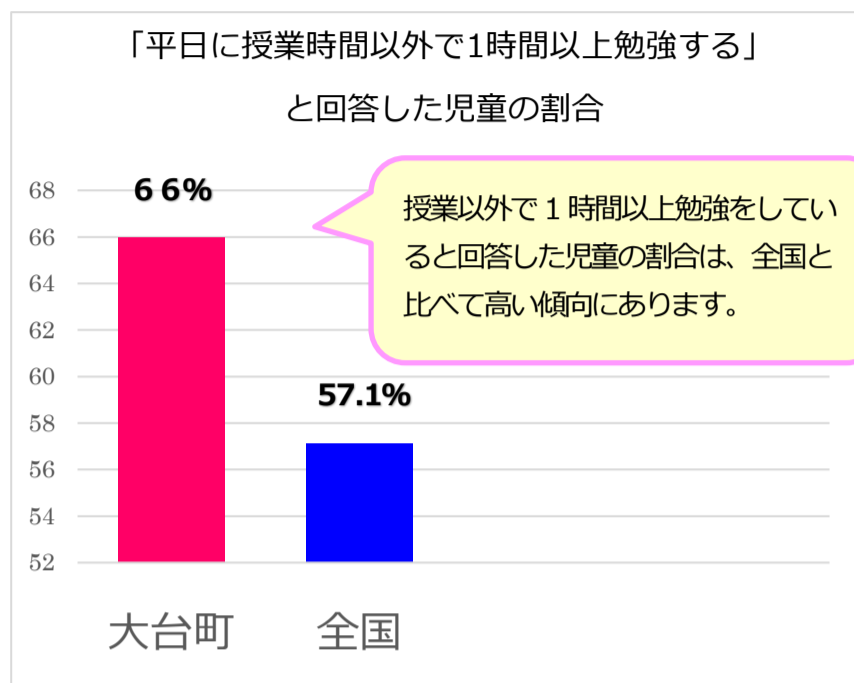
児童質問紙調査からは、多くの子どもたちが友だちと良好な関係を築き、学校生活を送っていることがうかがえます。これまで道徳教育や特別活動の充実、9年間を見通した人権学習、豊かな自然環境を生かした体験活動をはじめ、学校教育活動全体を通じて子どもたちの豊かな心をはぐくむ取組を進めてきた成果であるといえます。今後もさらに、子どもたち一人ひとりのよさを認めたり、達成感を味わわせたりする教育活動を進め、子どもたちが将来に、夢や希望を持ち、その実現に向かって自信を高めていけるよう努めていきます。大台町の子どもたちは、保護者や地域の皆様に支えられ成長しています。今後も、保護者や地域と連携しながら、大台町ならではの特色ある学校づくりを進めていきます。



# ご家庭でお願いしたいこと

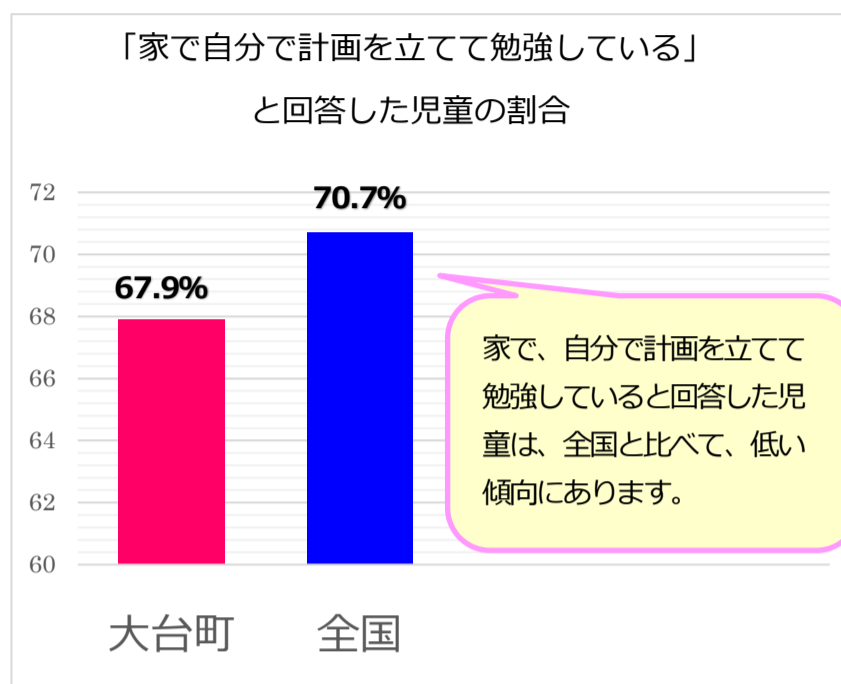
Q 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか

【表1】



Q 家で、自分で計画を立てて勉強していますか

【表2】



## 家庭で学習する習慣を身につけましょう

【表1】からわかる通り、「授業以外で1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合は、66%で全国平均と比べて高い傾向にあり、家庭で学習する習慣が定着しているといえます。毎日、繰り返しの練習や復習、予習に取り組むことが、基礎・基本の確実な定着につながります。また、【表2】からわかる通り、「家で自分で計画を立てて勉強している」に回答した児童の割合67.9%で全国平均と比べて低い傾向にありました。学校では、子どもたちに家庭での学習方法を具体例を挙げながら指導していきます。引き続き、家庭において子どもたちが自ら計画的に学習を進められるよう励ましの声かけや集中して取り組める環境づくりにご協力をお願いします。

大台町では、自立的な学習者を育てるために小中9年間を見通した「大台町家庭学習系統表」を作成し、それをもとに各校が作った「家庭学習の手引き」を子どもたちと保護者に配付しています。また、自主学習の取組も進めています。「家庭学習の手引き」をご活用いただき、お子さんと一緒に家庭学習の取組についてふりかえっていただきますようお願いいたします。



## 地域、保護者のみなさまへ

大台町では、学校と教育委員会が一体となって、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」の育成を目指して取り組んでいきます。学力向上の中心となるのは、「授業づくり」です。本調査の結果を学校と共有し、子どもたちが「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を実感できるよう授業改善を進めていきます。今後も、家庭、地域の協力のもと子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。ご理解、ご協力をお願いします。